

# ICTニューズレター

## ～ 咽頭結膜熱～

**冬の流行のピークに向けて、今後患者数が増加すると予想されます！**

**咽頭結膜熱**は、別名**プール熱**とも呼ばれ、例年6～7月に流行のピークを迎えますが、12月を中心に冬季にも流行する感染症です。2019年はこれまでのところ、過去10年間で冬期の流行が最も大きかった2017年の患者報告数と同水準で推移しており、今後の動向には注意が必要です。

主な症状は、発熱・咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)・結膜炎(結膜充血、眼痛、流涙、眼脂)の3つで、潜伏期は5～7日とされています。主に接触感染で伝播し、感染力は強力です。特異的な治療方法はなく、対症療法が中心となります。予防には感染者との密接な接触を避けること、流行時に手指の消毒をしっかりと行うことです。

大人でもまれにかかることがあります。大人がかかった場合は、子どもとは異なり、仕事などを強制的に休まなければならないといった制限はありません。しかし、自分の体調や周囲へ感染させてしまう可能性も考慮し、症状がなくなるまでは自宅で安静に過ごすことが勧められます。

